

北九州 市議会だより



NO.204

平成26年1月1日号
(年4回発行)

編集・発行
北九州市議会事務局総務課
TEL582-2622 FAX582-2685



◇市議会のホームページで「市議会だより」や本会議の「会議録」「インターネット中継」などご覧いただけます。
アドレスは<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/sigikai/>です。



映画「黒執事」ロケ地(八幡東区 イノベーションギャラリー)

12月定例会が開かれました

12月定例会が12月2日から12月9日までの8日間の会期で開かれました。
市長から71件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を原案のとおり決定しました。また、議員及び委員会から9件の議案が提出され、うち7件を可決しました。

主な内容	1～3面	本会議での質疑・質問と答弁
	4面	第5回議会報告会開催報告 常任委員会の活動状況
		可決した意見書・決議、請願・陳情の審議結果 など

本会議での質疑・質問と答弁

本会議での質疑・質問と答弁は、要約したものを掲載しています。
詳細を記した会議録は、2月下旬以降、市立図書館、中央図書館、門司・若松・八幡・八幡西・戸畑図書館および市議会事務局でご覧いただけます。
また、市議会のホームページの会議録検索システムでも3月中旬頃から閲覧できます。

北九州市の財政状況について

議員 本市の貯金である財源調整用基金が減ってきているが、本市の財政状況について、現状と今後の展望を伺う。

市長 本市の財政は、歳入に占める市税の割合が低いなど、自主財源の基盤が弱い弱な状況にある。平成24年度決算では、市税、地方交付税などが減少する一方、高齢化社会の進展によって福祉・医療関係経費が増加したため収支不足が拡大し、財源調整用基金を3年ぶりに取り崩さざるを得なかった。
現在国では、固定資産税の見直しや地方交付税の別枠加算の廃止について議論されており、その結果次第では、地方自治体に大きな影響を与えることになる。

また、今後とも福祉・医療関係経費や老朽化した公共施設の改修・更新経費の増加が見込まれている。
本市の財政を取り巻く状況は、厳しさを増しているが、本市の将来の発展や喫緊の課題の解決のため、新成長戦略を進めて税収増につなげるとともに、行財政改革を継続して事業の選択と集中を図り、持続可能で安定的な財政の確保に努めたい。

北九州市基本計画の変更について

議員 市の基本構想と基本計画は、市民の意見を反映し、自治体の責務を明確にしたものでなくては

本会議では、各会派から次の19人の議員が質疑・質問を行いました。(発言順。掲載記事の順番とは関係ありません。)

- 荒川 徹 (日本共産党)
- 成重 正文 (公明党)
- 三宅 まゆみ (ハートフル北九州)
- 日野 雄二 (自由民主党)
- 八記 博春 (日本共産党)
- 吉村 太志 (地域の声)
- 奥村 祥子 (自由民主党)
- 松岡 裕一郎 (公明党)
- 荒木 学 (日本維新の会)
- 八木 徳雄 (みんなの党)
- 長野 敏彦 (ハートフル北九州)
- 波田 千賀子 (日本共産党)
- 山本 真理 (ふくおかネット)
- 田中 光明 (日本共産党)
- 木下 幸子 (公明党)
- 福島 司 (ハートフル北九州)
- 新上 健一 (自由民主党)
- 中島 慎一 (自由民主党)
- 渡辺 均 (自由民主党)

ならない。特に、市政の方向を定める指針として重要な基本計画の変更は、慎重に吟味すべきと考えるが、見解を尋ねる。

市長 平成20年12月に策定した「元気発進―北九州―」プランのうち基本計画は、概ね5年で見直すことになっており、今回見直しを実施した。付属機関である「北九州市基本計画見直し検討委員会」の答申を踏まえて改定案を作成し、パブリックコメントを実施した。市民意見や議会の意見を踏まえ、今回見直し案を議会に提出した。

見直しのポイントは、「新成長戦略」、「安全・安心対策」、「行財政改革」を推進するとともに、「国際戦略総合特区や高齢者支援計画」、「地域エネルギー拠点の形成」など新しい政策も反映した。具体的には、新成長戦略による経済の活性化、雇用創出などであり、市民や議会の意見も聞きながら進めたい。
時代の変化に対応しつつ、一人でも多くの市民が幸せを実感でき、「住んでみたい、住み続けたい」と思えるまちの実現に向け、市長として全力を尽くしたい。

